

資料5

第6次泉南市総合計画 基本計画 (分野別政策 1-3) (案)

《目次》

施策1	人権尊重・平和・多文化共生	1
施策2	男女平等参画・女性活躍	3
施策3	子育て支援	5
施策4	就学前教育・学校教育	7
施策5	生涯学習・スポーツ・青少年健全育成	9
施策6	歴史・文化	11
施策7	農業・漁業	13
施策8	商工業	15
施策9	観光	17
施策10	雇用	19
施策11	防災	21
施策12	防犯・交通安全・消費者トラブル対策	23
施策13	環境保全・脱炭素・エネルギー	25
施策14	道路・交通	27
施策15	下水道・生活環境・住まい	29

令和4(2022)年
泉南市

施策1 人権尊重・平和・多文化共生

＜目指すまちの姿＞

誰もがかけがえのない存在として、一人ひとりの人権を尊重し合うことができるまち

- 性別や年齢、国籍などを問わず、市民一人ひとりがそれぞれの個性と能力を発揮しながら、お互いを認め合い、共に暮らすことができ、活躍することができる人権尊重・平和・多文化共生のまちづくりに取り組みます。

＜施策に関する成果指標＞

人権問題に関して理解が深まった人の割合（年平均）

＜現状値（令和3年）＞

83%



＜目標値（令和14年）＞

88%

＜施策に関する主な泉南市の取組状況・背景＞

- ◇社会情勢等の変化により男女、子ども、高齢者、障害者、外国人、部落問題等、人権課題が多様化しています。
- ◇法律や条例、各種計画に基づき、行政と市民の協働による人権尊重のまちづくりに向けた取組を行っています。
- ◇「戦争の悲惨さ」や「平和の尊さ」を市民とともに考える、平和に関する様々な事業を展開しています。
- ◇総人口に対する外国人住民の割合が上昇しており、今後のさらなる外国人住民の増加が見込まれます。

＜施策に関する主な課題＞

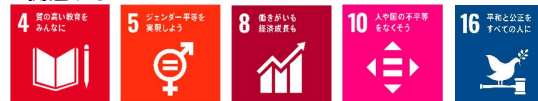
- ◇多様化する人権課題に対する市民の人権意識の高揚やインターネット上の人権問題等、新たな課題への対策の強化が必要です。
- ◇世界では戦争が起きているなか、日本では戦争体験者やその遺族が減少しており、戦争を知らない世代への啓発を行うことで恒久平和の理念を継承していくことが必要です。
- ◇国際化への意識啓発や外国人住民が地域住民との交流や生活文化の違いに対応するための支援が必要です。

＜関連する市民の意見・アイデア＞



誰もが個人を尊重することができる意識を育てるような学びの場があればいいなあ

＜関連するSDGs＞



＜実施する主な取組＞

① 人権尊重の推進

- ◇市民や企業に対する人権に関する啓発活動の実施や、指導者の養成、情報収集・提供の充実を推進します。
- ◇人権に関わる相談窓口や人権救済・保護に係る仕組の充実や、関係機関との連携強化を図ります。
- ◇児童生徒が人権の意義や内容、重要性を理解できるよう、教職員への研修等を通じた人権教育・人権保育の向上を図ります。
- ◇「泉南市子どもの権利に関する条例」に基づき、関係機関の連携による子どもの権利擁護をはじめとした施策や虐待防止等の取組を推進します。

② 恒久平和の理念の継承

- ◇非核平和の集い・8月非核平和月間等、市民に対する恒久平和の理念の啓発を行います。
- ◇戦争の惨禍や悲惨さを伝えることにより、戦争を知らない世代へ生命の大切さや平和の尊さを学ぶ機会を提供します。

③ 多文化共生の推進

- ◇市役所や公共施設における外国人相談窓口の充実や、外国人住民の地域活動参加促進のための多言語による情報提供を行います。
- ◇国際交流組織の育成・支援や外国人留学生のホームステイ促進等、国際交流に関わる取組の充実を図ります。
- ◇国際化への意識啓発や国際理解教育を推進します。

＜関連する主な個別計画＞

- ◇泉南市人権行政基本方針
- ◇泉南市人権行政推進プラン
- ◇泉南市人権教育基本方針
- ◇泉南市人権教育推進プラン

施策2 男女平等参画・女性活躍

＜目指すまちの姿＞

誰もが性別等にかかわらず、あらゆる分野に参画し、活躍することができるまち

■まちづくりのあらゆる分野で男女平等参画の理念に基づく取組を進めることで、家庭や職場、地域における理解を浸透し、実践につなげるとともに、性別を問わず誰もが活躍できるまちづくりに取り組みます。

＜施策に関する成果指標＞

行政委員・審議会委員等における女性登用率

＜現状値（令和3年）＞

34.9%



＜目標値（令和14年）＞

40.0%

＜施策に関する主な泉南市の取組状況・背景＞

- ◇男女平等参画に向けた様々な法令に基づく男女平等参画社会の実現に向けた取組を行っています。
- ◇市職員において、女性職員は育児休業を100%取得していますが、男性職員の取得者が少なくなっています。
- ◇市職員における女性管理職の割合は13.85%（令和3年4月1日時点）で、国が掲げる「指導的地位に占める女性の割合30%程度」を下回っています。

＜施策に関する主な課題＞

- ◇社会における女性活躍の重要性が高まる中、さらなる男女平等参画推進のための仕組みづくりと市民の意識づくりが必要です。
- ◇管理職に占める女性割合の向上や、男性の育児休業・介護休業の取得促進等、市役所の率先した取組による市全体への浸透を図ることが必要です。
- ◇仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現等、誰もがやりがいや充実感を持てるよう、多様な働き方を選択することができる環境づくりが必要です。
- ◇配偶者等からの暴力（DV）の防止や被害者への支援が必要です。

＜関連する市民の意見・アイデア＞



男女ともに気兼ねなく育児休業を取得したり、多様な働き方が選択できる環境になったらいいなあ

＜関連するSDGs＞



＜実施する主な取組＞

① 男女平等参画社会実現に向けた環境づくり

- ◇すべての人が性別に関わらず活躍できる社会を目指すため、男女平等参画に関する啓発活動や教育を推進します。
- ◇あらゆる人が自分らしく暮らすことができる地域社会づくりに向け、性の多様性を尊重する環境づくりを推進します。
- ◇行政委員や審議会委員、市職員における管理職の女性登用を拡大します。

② ワーク・ライフ・バランスの実現

- ◇仕事と子育てや介護等が必要な時期に多様な働き方を選択することができるよう、ワーク・ライフ・バランスの考え方の普及を促進します。
- ◇泉南市役所における働き方改革や育児休業・介護休業の取得を促進します。

③ あらゆる暴力の根絶

- ◇家庭、地域、企業、学校等あらゆる場面における暴力や虐待防止のための啓発を行います。
- ◇暴力や虐待の発生の未然防止や被害者を支援するため、関係機関との連携による相談窓口機能の充実を図ります。

＜関連する主な個別計画＞

- ◇第4次せんなん男女平等参画プラン
- ◇泉南市における女性職員の活躍に関する特定事業主行動計画

施策3 子育て支援

＜目指すまちの姿＞

子どもや保護者が社会や地域に見守られ、子育て環境が充実し、安心して子育てができるまち

■子どもの健やかな成長と子育て家庭を支えるため、地域ぐるみで安心して子育てができる環境づくりを行い、就学前における教育・保育環境が充実したまちづくりに取り組みます。

＜施策に関する成果指標＞

この地域で今後も子育てをしていきたいと回答した人の割合

＜現状値（令和3年）＞

95.8%

＜目標値（令和14年）＞

99.0%

＜施策に関する主な泉南市の取組状況・背景＞

- ◇本市の年間の出生数は10年前と比較して100人以上減少しており、今後も減少することが見込まれます。
- ◇核家族化の進行や就労形態の多様化により、本市の認可保育施設利用希望者数は増加傾向となっています。
- ◇ひとり親家庭や外国にルーツを持つ子ども、発達に課題のある子どもや医療的ケア児等、支援を必要とする子ども、家庭が増加しています。
- ◇各機関における子どもや子育て家庭を支援する機能の強化を図っています。

＜施策に関する主な課題＞

- ◇保育ニーズの多様化に対応し、保育を必要とする人が確実にサービスを受けられる体制づくりが必要です。
- ◇家庭で協力して子育てを行うことを促進するための啓発が必要です。
- ◇身近な子育て支援の場所へのアクセスの充実や、わかりやすい情報発信が必要です。
- ◇児童虐待件数が全国同様増加しており、発生予防に取り組むことが必要です。

＜関連する市民の意見・アイデア＞



いつまでも子育てがしやすく、子どもがのびのびと暮らせるまちであってほしいなあ

＜関連するSDGs＞



＜実施する主な取組＞

① 保育環境の充実

- ◇保育人材の確保や定着、キャリアアップの支援等を行います。
- ◇保育施設と児童発達支援を一体的に行うインクルーシブ保育や、療育支援に係る専門機関との連携を図ります。
- ◇保育施設・保育士等による地域の子育て支援や、保護者に対する助言等により、地域や家庭における保育の充実を図ります。
- ◇子育て関連施設の充実を図ります。

② 子育てしやすい環境の整備

- ◇個々の家庭、子どもに寄り添い、それぞれに応じた切れ目ない、継続的な支援を行います。
- ◇就学前の子どもとその保護者の居場所づくりや、ふれあえる機会づくり、子育てに関する情報提供等の充実を図ります。
- ◇身近な子育て支援者の人材発掘、育成、見守りがある地域づくりを行います。
- ◇家庭で協力して子育てを行うための啓発活動を促進します。
- ◇児童虐待の発生を予防するため、面談等を通じ、保護者等への支援を行います。

③ 子どもと保護者の健康づくりの推進

- ◇妊娠中から出産、子育て期に至るまで、安心を確保できるよう、各機関の機能充実や連携強化、母子の健康管理、発達相談等を行います。
- ◇近隣市町や医師会との連携等による周産期医療や、小児医療の体制の強化を図ります。

＜関連する主な個別計画＞

- ◇健康せんなん21
- ◇第2期泉南市子ども・子育て支援事業計画

施策4 就学前教育・学校教育

＜目指すまちの姿＞

安全・安心な環境の中で、学力向上に取り組むことができ、子どもたちの笑顔と健康が守られるまち

■子どもが安全に安心して過ごせる教育環境の中で、確かな学力とたくましく生きる力を身につけられるよう、家庭、地域、学校、行政が連携した地域ぐるみの学校づくりに取り組むとともに、生まれ育った地域に愛着、誇りを持ち、明るく元気な子どもが育ちまわちづくりに取り組みます。

＜施策に関する成果指標＞

幼稚園・学校に行くのが楽しいと思う子どもの割合

＜現状値（令和3年）＞

86.9%



＜目標値（令和14年）＞

90.0%

※幼稚園児 98.9%・小学生 84.0%・中学生 77.8%の平均値

＜施策に関する主な泉南市の取組状況・背景＞

- ◇保育所（園）・幼稚園・こども園・小学校の連携により、集団での遊びの充実や自他を大切に育てる子どもの心の育成を図っています。
- ◇小中学校間を円滑に接続し、連続性を確保したカリキュラムや生徒指導を行う小中一貫教育を推進しています。
- ◇多様な学びに対応できる教育環境の整備や、安全・安心な学校給食の提供や食育の推進を図っています。

＜施策に関する主な課題＞

- ◇児童生徒数の減少に伴い、学校の小規模化・単学級化の進行が見込まれるため、学校規模の適正化が必要です。
- ◇多様な学びやICTの活用等、教育環境の変化に対応することができる教職員の育成が必要です。
- ◇行政と学校だけでなく、家庭や地域等も含めた教育を取り巻く環境を、地域ぐるみで整備することが必要です。
- ◇多様化する人権課題について、小中9年間での系統的な学習を行うことが必要です。

＜関連する市民の意見・アイデア＞



子どもたちが学ぶなかで、家族以外の人たちとふれあう機会があるといいなあ

＜関連するSDGs＞



＜実施する主な取組＞

①就学前教育の充実

- ◇子どもたちが遊びと学びの連続性を確保するため、保育所（園）・幼稚園・こども園・小学校の連携を推進します。
- ◇グローバル社会に対応し、多様な文化に触れながら豊かな心を育むため、就学前の段階からの国際交流を推進します。

②義務教育の充実

- ◇確かな学力を身につけ豊かな心を育むため、教職員研修の充実等、教職員の資質・能力向上を図ります。
- ◇学力の定着や教育内容の充実を図るため、家庭学習の支援及び小中一貫教育を推進します。
- ◇性別、国籍、障害の有無、生まれた環境等に関わらず自他を尊重できる子どもを育成するため、人権教育や外国語教育等を推進します。
- ◇いじめや不登校、問題行動等の生徒指導上の問題解決に注力するため、教育相談体制と子どもの心のケアの充実を図ります。

③安全・安心な教育環境づくり

- ◇すべての家庭が安心して、育てる喜びを感じることができるようにするための子育て・子育て支援の充実を図ります。
- ◇柔軟で創造的な学びに対応することができる教育環境の整備を図ります。
- ◇保護者や地域との連携による通学路の安全確保や、学校の防犯機能強化、避難訓練の実施等による子どもの安全確保を推進します。
- ◇防災拠点や地域コミュニティ拠点となる機能の付加や学校を核として各主体をつなぐ教育コミュニティ拠点となる開かれた学校づくりを行います。
- ◇子どもの健やかな心身の育成や、食を通じて地域や文化、自然の恵み、勤労の大切さを理解するため、安全・安心な学校給食の提供と食育の推進を図ります。

＜関連する主な個別計画＞

- ◇泉南市教育振興基本計画
- ◇泉南市公共施設最適化推進実施計画
- ◇泉南市公共施設等個別施設計画
- ◇泉南市立小中学校再編計画
- ◇泉南市人権教育基本方針
- ◇泉南市人権教育推進プラン

施策5 生涯学習・スポーツ・青少年健全育成

＜目指すまちの姿＞

誰もが生涯学習と健康なからだづくりを楽しめる、心豊かな生活と学びを支えるまち

■生涯学習の充実や子どもから高齢者まで誰もがスポーツに親しむことができる環境づくり、家庭や地域の見守りや支援を通じた青少年の健全な成長を促進し、市民の生きがいや健康づくりにつなげ、豊かな心を育み楽しく学び活動ができるまちづくりに取り組みます。

＜施策に関する成果指標＞

人口一人当たりの生涯学習施設の年間利用回数

＜現状値（令和3年）＞

2.6回

＜目標値（令和14年）＞

3.9回

※生涯学習施設（市民体育館、双子川テニスコート、市民球場、図書館、文化ホール、公民館、青少年センター）

＜施策に関する主な泉南市の取組状況・背景＞

- ◇すべての世代の人たちが生涯を通じて学ぶことができる学習機会の提供等、生涯学習活動の充実を図っています。
- ◇地域情報拠点として、図書・視聴覚・郷土資料等の収集と提供や、学校・園、関連機関との連携による読書活動の推進、居場所として、図書館の充実を図っています。
- ◇誰もがスポーツに親しみ、生涯にわたり健康で充実した生活を営めるようにするためのスポーツをする機会の提供を図っています。
- ◇多様な体験活動等の提供による豊かな人間性、社会性を身に着けた青少年の育成を図っています。

＜施策に関する主な課題＞

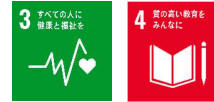
- ◇これまでの生涯学習活動の継承や、世代を超えた交流、多様化する新たなニーズへの対応が必要です。
- ◇幼児期から体を動かす楽しさを体験することができる機会を提供し、各段階において継続してスポーツをする機会の充実を図ることが必要です。
- ◇青少年の健全な育成のために、引き続き地域や関係団体等との連携による非行防止活動の推進が必要です。

＜関連する市民の意見・アイデア＞



SNSやITを活用した講座など、幅広い生涯学習活動ができるようになったらいいなあ

＜関連するSDGs＞



＜実施する主な取組＞

① 生涯学習の推進

- ◇生涯を通して学ぶことのできる環境の整備、多様な学習機会の提供を行います。
- ◇関係団体の活動・発表・交流の場や機会の提供等、生涯学習活動の支援を行います。
- ◇読書への興味・関心を高め、必要な知識を得るとともに、楽しみながら読書活動ができる環境の整備を図ります。

② スポーツ活動の推進

- ◇地域資源を活用したスポーツイベントの実施や開催支援、国際大会の誘致等、その経験や国際協力関係をいかした生涯スポーツ社会の実現に寄与します。
- ◇スポーツ、芸術、文化の分野で将来にわたり活躍が期待できる人を支援します。
- ◇あらゆる世代を通じたスポーツを楽しむ環境づくりや、泉南りんくう公園（SENNAN LONG PARK）等を活用したスポーツイベントを展開します。

③ 青少年の健全育成

- ◇地域全体で子ども・青少年の健やかな育成に取り組む機運を高め、学校園を含む関係組織や団体との連携による子どもの居場所の確保と青少年の健全育成に取り組めます。
- ◇留守家庭児童会事業の充実、強化を図ります。

＜関連する主な個別計画＞

- ◇泉南市教育振興基本計画
- ◇泉南市人権教育推進プラン
- ◇第3次泉南市子ども読書活動推進計画
- ◇第2期泉南市子ども・子育て支援事業計画
- ◇第2期泉南市まち・ひと・しごと創生総合戦略

施策6 歴史・文化

＜目指すまちの姿＞

歴史的・文化的な地域資源に親しみを持ち、郷土愛が育まれるまち

■歴史的・文化的な資源をいかして文化の質が高い地域づくりを行い、市民がふるさとや地域への愛着、誇りなど郷土愛を持てるまちづくりに取り組みます。

＜施策に関する成果指標＞

学習活動などに活用された文化財の件数

＜現状値（令和3年）＞

118 件



＜目標値（令和14年）＞

150 件

＜施策に関する主な泉南市の取組状況・背景＞

- ◇海会寺跡をはじめとした文化財の調査、価値づけ、活用を図っています。
- ◇小中学校園との連携により子どもたちに地域の文化財に興味を持ってもらえる取組を行っています。
- ◇市民協働による郷土の文化に係る事業実施や、地元の郷土史家等による市民向け講座を実施しています。
- ◇泉南市の歴史・文化・自然に関する紹介、企画展示等を開催しています。

＜施策に関する主な課題＞

- ◇市民にあまり知られていない文化財等の地域資源の周知が必要です。
- ◇文化活動の担い手の高齢化や後継者不足解消のため、担い手の育成が必要です。
- ◇多様な文化芸術に触れる機会の創出に向け、市民協働による取組が必要です。

＜関連する市民の意見・アイデア＞



伝統的な建物や文化をいかしたイベントや事業を通じて、泉南市の魅力をもっと多くの人に知ってほしいなあ

＜関連するSDGs＞



＜実施する主な取組＞

① 歴史的資産の活用

- ◇文化財や伝承の保存と活用、新たな地域資源の発掘や開発を行います。
- ◇地域の文化的財産に対する意識向上に向けた学習の場や、文化財・伝統芸能等を紹介・PRする機会を創出します。
- ◇小中学校園や埋蔵文化財センターを核とした人が集まれる仕組づくりや、子どもや家族向けの地域資源を活用したイベントを通じたPR活動を実施します。

② 市民文化活動の充実

- ◇市民による自主的な文化活動に対する支援の充実を図ります。
- ◇広報紙やホームページ、SNS等を活用したPRによる自発的な文化活動への参加支援を行います。
- ◇多様な文化・芸術に触れる機会の創出や、市民ボランティアの育成等、市民の意見を取り入れた運営を実施します。

＜関連する主な個別計画＞

- ◇泉南市教育振興基本計画

施策7 農業・漁業

＜目指すまちの姿＞

自然の恵みがいかされ、農業・漁業が活気にあふれるまち

■山と海の資源をいかした地産地消や地域ブランドの推進、6次産業化などによる新たな商品やビジネスの創出に向けた仕組の構築などを通じ、農業・漁業が活性化し、にぎわいのあるまちづくりに取り組めます。

＜施策に関する成果指標＞



＜施策に関する主な泉南市の取組状況・背景＞

- ◇農漁業の従事者数の減少と高齢化が進行しています。
- ◇農業技術を習得し、農業経営を開始しようとする人を育成する泉南農業塾の創設による新たな担い手確保を行っています。
- ◇産官学連携による「泉南あなご」等、地域ブランド品を開発しています。
- ◇地元の農水産物を地元で消費する「地産地消」が重要な取組として全国的に実施されています。
- ◇泉南りんくう公園（SENNAN LONG PARK）に隣接する泉南市総合交流拠点施設（サザンびあ）では、地元農水産物等の直売等で多くの人で賑わっています。

＜施策に関する主な課題＞

- ◇農業者の高齢化、農道やため池等の農業基盤の老朽化に伴い、後継者不足や有休農地の増加が課題となっています。
- ◇現行の地域ブランド品の知名度向上及び新たな地域ブランド品の開発が必要です。
- ◇生産性の高い農漁業の確立等による新たな担い手の確保・育成が必要です。

＜関連する市民の意見・アイデア＞



泉南ブランドが高く評価され、農業・漁業が活発になることでたくさんさんの雇用が生まれたいなあ

＜関連するSDGs＞



＜実施する主な取組＞

① 農漁業の振興

- ◇農業用道路、農業用水路及び農地の保全等、機能の維持や、農業振興と生産性向上のため、意欲ある農業者への遊休農地の貸借促進や利用集積を図ります。
- ◇農作物、水産物等の販路の確保等、地域ブランド品の開発・展開を推進します。
- ◇漁業協同組合等、関係団体との連携強化や、地産地消を推進します。

② 農漁業の担い手確保・育成

- ◇泉南農業塾の拡充や、就農希望者の受け入れ策の検討による担い手の確保・育成に取り組みます。
- ◇農漁業体験等、農漁業に興味を持つきっかけづくりの推進による担い手の確保につなげます。
- ◇移住者への支援による農漁業を生業とする移住促進を図ります。

施策8 商工業

＜目指すまちの姿＞

商工業の活性化が地域に活力を生み、笑顔とにぎわいにあふれるまち

■広域的な交通アクセスなどの立地をいかした新たな企業誘致や、市内事業者への支援の充実により、商工業の活性化を図ることで、市民の生活が便利で満足度が高く、にぎわいにあふれるまちづくりに取り組めます。

＜施策に関する成果指標＞

市内事業所数（経済センサス）

＜現状値（令和3年）＞

1,969 事業所

＜目標値（令和14年）＞

2,200 事業所

※参考値：平成28年2,128事業所、平成24年2,235事業所

＜施策に関する主な泉南市の取組状況・背景＞

- ◇経営環境が変化していることや、経営者の高齢化や後継者不足により、本市でも地元商店が減少傾向にあります。
- ◇商工会及び金融機関等と連携して実施する特定創業支援事業による支援や空き店舗を活用した商店街の活性化や企業誘致の促進を図っています。
- ◇中小企業の経営安定化や、地場産業への支援、先端設備導入に対する支援を行っています。
- ◇地域ブランド確立による地域活性化に向けた取組を行っています。

＜施策に関する主な課題＞

- ◇市内企業の事業継承、後継者の確保、生産性の向上が必要です。
- ◇立地を検討する企業をサポートする体制の整備が必要です。
- ◇市民の高齢化や商業の廃業等により、買物困難者が増加しています。
- ◇創業支援に関する情報提供と創業しやすい環境の整備が必要です。

＜関連する市民の意見・アイデア＞



市民の“やってみよう”をいかして、泉南市の新たな産業が生まれたいなあ

＜関連するSDGs＞



＜実施する主な取組＞

① 商工業の振興

- ◇商工会との連携による異業種ビジネス交流会や若手経営者等の育成支援を行います。
- ◇企業の事業継承推進のため、経営者と新たな創業者とのマッチング機会の創出や、生産性向上に関する取組を支援します。
- ◇本市の立地特性をいかした企業立地を促進します。
- ◇市内の特色ある製品等を銘品として認定するとともに、認定品及び事業者の取組を市内外へ広く発信します。
- ◇空き店舗の活用や買物困難者に対する取組など地域商業の活性化を推進します。

② 起業・創業の支援

- ◇商工会や金融機関等との連携による創業支援、創業後のサポート等、事業継続を支援します。
- ◇空き店舗活用による支援等、起業・創業の機会の拡充を図ります。

＜関連する主な個別計画＞

- ◇第2期泉南市まち・ひと・しごと創生総合戦略
- ◇創業支援事業計画

施策9 観光

＜目指すまちの姿＞

地域資源がいかされ、人びとが行き交う観光・交流のまち

■豊かな海・山などの自然や歴史文化を地域資源として活用した泉南市ならではの観光サービスや商品開発により泉南市を訪れる人を増やし、人びとが行き交うまちづくりに取り組みます。

＜施策に関する成果指標＞



＜施策に関する主な泉南市の取組状況・背景＞

- ◇社会情勢の変化により、令和2（2020）年以降の訪日外国人旅行者が大幅に減少しているとともに、マイクロツーリズムへの需要が高まっています。
- ◇観光協会と連携した本市の観光魅力のPRや、デジタルサイネージを活用した観光情報を発信しています。
- ◇広域連携による地域の魅力向上、国内外に向けた情報発信を行っています。
- ◇農業・漁業体験と観光をつなげることによる多世代、多様な人々による地域活性化を推進しています。

＜施策に関する主な課題＞

- ◇市の魅力向上のため、市内の観光資源（自然・文化・歴史・産業）のさらなる磨き上げが必要です。
- ◇市の認知度向上のため、SNSの活用等、情報発信力の強化が必要です。
- ◇観光情報の多言語化等により、幅広い観光客層に対応する受入環境の整備が必要です。

＜関連する市民の意見・アイデア＞



泉南りんくう公園（SENNAN LONG PARK）のほかに山側にも新たな観光魅力があったらいいなあ

＜関連するSDGs＞



＜実施する主な取組＞

① 観光の振興

- ◇目指すべきコンセプト、ターゲットの明確化を通じた観光の振興を図ります。
- ◇泉南りんくう公園（SENNAN LONG PARK）来園者を内陸部へと周遊させる取組を促進します。
- ◇インバウンドを含めた幅広い観光客層に対応する受入環境の整備・向上を図ります。
- ◇農漁業体験と観光をつなげた体験型観光を促進します。

② 観光魅力のPR

【修正案】

- ◇泉南市の地域資源や観光資源などを通じて泉南市の魅力在市内外へ広く発信するとともに、にぎわいづくりや知名度向上を図ります。
- ◇SNSやデジタルサイネージ等、様々な手段により観光情報を市内外へ発信し、観光資源の知名度向上と集客の促進を図ります。
- ◇広域連携により観光資源を結びつけ、PRしていくことにより幅広い集客を図ります。

＜関連する主な個別計画＞

- ◇第2期泉南市まち・ひと・しごと創生総合戦略
- ◇泉南市観光振興ビジョン

施策10 雇用

＜目指すまちの姿＞

新たな雇用の創出による就業機会の拡充と雇用環境の改善により、地元で安心して働くことができるまち

■農業・漁業、商工業、観光など、それぞれの産業の振興により、多様な雇用の場を確保・充実することで、希望する人が市内で働くことができるまちづくりに取り組みます。

＜施策に関する成果指標＞

従業者数（経済センサス）

＜現状値（令和3年）＞

23,862人

＜目標値（令和14年）＞

24,000人

※参考値：平成28年23,101人、平成24年23,611人

＜施策に関する主な泉南市の取組状況・背景＞

- ◇生産年齢人口は平成8（1996）年以降減少を続けている中、完全失業率は低下している一方、社会情勢の変化により、契約社員やパート・アルバイトといった非正規雇用者が増加を続けており、今後、失業者の増加が懸念されています。
- ◇本市では、就職等をきっかけとする20代での転出超過が大きくなっています。
- ◇就労支援相談員による就労相談・支援や関係機関との連携により、就労機会を創出するとともに、社会保険労務士による労働相談や弁護士による無料法律相談により、労働環境の改善に向けた取組を行っています。

＜施策に関する主な課題＞

- ◇様々な世代が市内で働きたいと思える環境づくりが必要です。
- ◇労働環境の向上に向けた各種制度の普及や企業の福利厚生を向上を促進する必要があります。

＜関連する市民の意見・アイデア＞



仕事を探している人と、企業をマッチングすることで誰もが自分らしく働けるまちになったらいいなあ

＜関連するSDGs＞



＜実施する主な取組＞

① 雇用・就業支援の推進

- ◇農漁業、商工業、観光振興に関する施策や企業誘致を推進することで、多様な雇用機会、働く場所を創出します。
- ◇就労相談による支援や関係機関との連携により、就業支援を行います。
- ◇商工会と連携し、雇用の受け皿となる事業者への家賃補助や、空き店舗と新規事業者のマッチング等ソフト支援策を充実します。

② 労働環境の充実

- ◇労働相談、法律相談を通じ、専門的な見地からの助言を行い、相談者の問題解決や雇用・労働環境の改善を図ります。
- ◇商工会や企業が実施する福利厚生事業を支援し、労働者の福利厚生の向上を図ります。
- ◇働きやすい環境整備や労働条件の向上等、労働者が安心して就業できる環境づくりのため、企業への啓発を推進します。

施策11 防災

＜目指すまちの姿＞

災害による被害を地域の支え合いや民間企業等との連携で最小化し、誰もが安全・安心に暮らし続けられるまち

■発生が懸念される大規模地震や津波、豪雨などの自然災害による被害を防災・危機管理体制の充実や地域住民同士の支え合い・助け合い、企業等との連携により最小限におさえるなど、誰もが地域で安心して暮らすことができるまちづくりに取り組みます。

＜施策に関する成果指標＞

自主防災組織の組織率（世帯按分）

＜現状値（令和3年）＞

62.2%

＜目標値（令和14年）＞

90%

＜施策に関する主な泉南市の取組状況・背景＞

- ◇平成30（2018）年に発生した台風21号では、市内でも大規模停電や建物被害等が発生しました。
- ◇南海トラフ地震の被害を想定し、他自治体との連携を構築しています。
- ◇自主防災組織の設立を支援することで、地域における防災の拠点づくりを行っています。
- ◇民間住宅の耐震化の促進や避難行動要支援者の名簿作成等、災害被害の軽減に向けた取組を行っています。

＜施策に関する主な課題＞

- ◇大災害発生時に対応するため、さらなる防災協定の締結や庁内の連携体制の構築が必要です。
- ◇地域全体での防災体制の構築、各家庭での災害への備え等の意識向上が必要です。

＜関連する市民の意見・アイデア＞



地域が主体的に防災訓練や防災リーダーの育成を行うことで、災害に強いまちになったらいいなあ

＜関連するSDGs＞



＜実施する主な取組＞

① 防災体制の充実

- ◇大災害発生時に迅速な地域復興につなげることができるよう、事前の計画づくりや庁内連携体制を構築します。
- ◇避難所、備蓄拠点の整備、庁内緊急出動体制の強化を図り、災害に備えます。
- ◇府内外の市町村や企業、関係団体等との防災協定の締結を促進します。
- ◇SNSの活用等、市民に対する防災情報の伝達手段の拡充を行います。

② 災害に強い地域づくり

- ◇市民の防災意識を高めるため、各種講座や広報等による啓発、市民と行政との協働による防災訓練等の充実を図ります。
- ◇自主防災組織のさらなる設立支援や、その活動を支援するとともに、地域における避難行動要支援者の個別避難計画作成を促進します。
- ◇民間住宅の耐震化を促進するため、市民の周知啓発を図ります。

＜関連する主な個別計画＞

- ◇泉南市防災計画
- ◇泉南市強靱化地域計画

施策12 防犯・交通安全・消費者トラブル対策

＜目指すまちの姿＞

犯罪と交通事故が少なく、子どもから高齢者まで安心して生活を送れるまち

■全国的に多様化・凶悪化する犯罪や消費者問題、交通事故などから子どもから高齢者まで、一人ひとりの生命と暮らしを守り、被害に遭う人を最小限におさえることができる、市民、地域、行政の連携による安全・安心なまちづくりに取り組みます。

＜施策に関する成果指標＞

刑法犯罪種及び手口別発生市区町村別認知件数（大阪府犯罪統計）

＜現状値（令和3年）＞

314 件

＜目標値（令和14年）＞

250 件

＜施策に関する主な泉南市の取組状況・背景＞

- ◇青色防犯パトロールや交通安全施設の整備、防犯カメラ及び防犯灯の設置等、関係団体との連携による防犯・交通安全対策を実施しており、犯罪認知件数と人身事故発生件数ともに減少傾向である一方、車両相互の事故は増加傾向にあります。
- ◇SNSを悪用した消費者トラブル等に対し、消費生活相談員や行政相談員による相談や、弁護士による無料法律相談を実施していますが、問題が多岐にわたり複雑化しています。

＜施策に関する主な課題＞

- ◇地域住民や関係団体等との連携による地域における子どもの見守り体制構築へのさらなる支援が必要です。
- ◇地域の理解を踏まえた防犯カメラ及び防犯灯の増設並びに適切な維持管理手法の確立が必要です。
- ◇通学時に起こりうる事件や事故への対策が必要です。
- ◇歩行者優先となる道路整備を行っていくとともに、ドライバーのマナー向上が必要です。
- ◇年々複雑・多様化する相談に加えて、成人年齢引き下げに伴う若年層の消費者トラブル増加への対応が必要です。

＜関連する市民の意見・アイデア＞



防犯カメラや防犯灯を増やしたり、歩行者や自転車にもやさしい安全なまちになったらいいなあ

＜関連するSDGs＞



＜実施する主な取組＞

① 防犯対策の充実

- ◇地域の関係団体等との連携による子どもの見守り活動等のさらなる支援を行うとともに、防犯カメラ及び防犯灯の設置、適切な維持管理を行うための仕組みづくりに取り組みます。
- ◇市民一人ひとりの防犯意識の向上を図るとともに、地域の自主防犯活動を支援します。

② 交通安全対策の推進

- ◇地域の関係団体等との連携により、危険箇所の点検等、通学路の安全対策の強化を図ります。
- ◇歩行者優先社会づくりに向けた啓発や、交通安全施設の整備等、歩行者の安全確保を図ります。

③ 消費者トラブル対策の推進

- ◇市民一人ひとりの消費者トラブルの意識の向上を図るとともに、関係機関との連携により、見守りネットワークの構築に向けて取り組みます。
- ◇消費生活相談員や弁護士、行政書士等の専門家による相談体制の充実を図るとともに、消費生活に関する講座及び情報発信、啓発を行います。

＜関連する主な個別計画＞

- ◇泉南市通学路交通安全プログラム

施策13 環境保全・脱炭素・エネルギー

＜目指すまちの姿＞

ごみの排出が抑制され、河川や森林に配慮した環境にやさしいまち

■海・山・川など、本市の豊かな自然を守りながら、「2050年のカーボンニュートラル」を視野に入れた地球温暖化対策やエネルギー対策、ごみの減量化など、環境負荷の少ない暮らし方を浸透させることで、地球にやさしいまちづくりに取り組みます。

＜施策に関する成果指標＞

1人1日あたりのごみ排出量（家庭系ごみ）

＜現状値（令和3年）＞

464g



＜目標値（令和14年）＞

414g

＜施策に関する主な泉南市の取組状況・背景＞

- ◇ごみの排出量、1人1日あたりごみ排出量ともに横ばい傾向となっており、ごみの分別収集の強化（7分別）や、生ごみ処理機の導入促進等の取組を行っています。
- ◇山地美化キャンペーンや海岸美化活動等、環境保全に取り組んでいます。
- ◇国では、令和3（2021）年に新たな地球温暖化対策計画が閣議決定され、令和12（2030）年度に平成25（2013）年度比で46%減とする温室効果ガスの削減目標や、目標達成のために国、地方公共団体が講ずべき施策について示されています。

＜施策に関する主な課題＞

- ◇分別区分の調整や、ごみ出しに不便を感じている高齢者等のごみ出しに関するニーズへの対策、不法投棄、持ち去りごみ等への対策が必要です。
- ◇ため池や里山の保全活動を周知・啓発し、さらに広げていくことが必要です。
- ◇温室効果ガス排出量の削減目標に向け、地球温暖化対策の推進を図るなど、脱炭素社会実現に対する取組が必要とされています。

＜関連する市民の意見・アイデア＞



環境に配慮した暮らし方が浸透した地球にやさしいまちになったらいいなあ

＜関連するSDGs＞



＜実施する主な取組＞

① 環境保全の推進

- ◇ため池や河川の改修・保全や管理を適切に行います。
- ◇市民やNPO団体等と協働し、里地里山の保全と活用を推進します。
- ◇ごみの収集方法や収集コースの見直しを行い、ごみ収集を適切に行います。
- ◇環境調査の実施や市民・企業と協力した公害の未然防止を図るとともに、水質保全のための取組を推進します。

② 脱炭素社会の実現

- ◇ごみの排出抑制に向け、市民が環境にやさしい消費行動に取り組めるよう、啓発を図ります。
- ◇3R（廃棄物の発生抑制、再使用、再資源化）の普及を図るとともに、資源ごみの分別の徹底を図ります。
- ◇企業等と連携しながら、ごみ処理場の効率的な運転と適切な維持管理を行います。
- ◇自動車から出る二酸化炭素排出量削減のため、公用車の電動自動車導入や市民に対する自転車活用を推進します。
- ◇公共施設への再生可能エネルギーの導入や市民への啓発等、利用促進を図ります。

＜関連する主な個別計画＞

- ◇一般廃棄物（ごみ）処理基本計画
- ◇一般廃棄物（ごみ）処理実施計画
- ◇泉南市自転車活用推進計画
- ◇泉南市地球温暖化対策実行計画

施策14 道路・交通

＜目指すまちの姿＞

主要拠点にアクセスしやすい交通網が整備され、誰もが快適・安全に移動しやすいまち

■様々な拠点に行きやすく、市民生活に身近な道路の計画的な整備や、地域の特性に合った公共交通の維持・発展により、誰もが快適・安全に移動できるまちづくりに取り組まします。

＜施策に関する成果指標＞

コミュニティバス利用者数

＜現状値（令和3年）＞

133千人



＜目標値（令和14年）＞

160千人

＜施策に関する主な泉南市の取組状況・背景＞

- ◇交通渋滞解消や災害時の交通機能維持のため、都市計画道路の整備や無電柱化を進めるとともに、身近な移動手段として、自転車の活用を推進する取組を進めています。
- ◇老朽化した道路構造物の急増に備え、長寿命化計画に基づき、定期点検や修繕を行っています。
- ◇コミュニティバスの路線の見直しやダイヤ改正、高齢者や交通弱者向けの補助金制度等を行っています。

＜施策に関する主な課題＞

- ◇交通渋滞解消や安全性確保のため、道路のさらなる効果的な整備が必要です。
- ◇自転車走行空間の整備と自転車の活用を市民に対し周知・啓発していくことが必要です。
- ◇老朽化した道路構造物の効率的な維持管理が必要です。
- ◇コミュニティバスの路線の見直しやダイヤ改正等により、さらなる利用促進が必要です。
- ◇山側の交通弱者の支援や公共施設、観光名所を巡回する新たな公共交通の検討が必要です。
- ◇市域内の経済をより循環させるため、関西国際空港へのアクセス性の向上が必要です。

＜関連する市民の意見・アイデア＞



公共交通を便利にすることで車による移動を減らすなど、移動が便利になって、環境保全にもつながったらいいなあ

＜関連するSDGs＞



＜実施する主な取組＞

① 道路環境の整備

- ◇拠点となる市役所や駅周辺において、安全で快適な徒歩・自転車・自動車の移動環境の確保を図ります。
- ◇拠点間及び地域間をアクセスしやすい道路ネットワークの形成に取り組めます。
- ◇ICTやAI等の新技術を活用し、メリハリの効いた道路メンテナンスを実施します。

② 多様な交通手段の利用・導入促進

- ◇コミュニティバスについて、利用者の意見を踏まえ、路線の見直しを行うとともに、乗車割引制度の拡充を検討します。
- ◇小型バス等を活用したデマンド型交通やカーシェアリングサービス等、多様な交通手段の導入を検討します。
- ◇拠点間を連携する交通手段の一つとして、自転車ネットワークの形成を図ります。

③ 広域ネットワークの構築

- ◇近隣府県及び市町村と連携、協力し、関西国際空港を中心とした広域アクセス網の早期整備を求める要望活動を促進します。
- ◇リスクマネジメントの観点から関西国際空港への代替アクセスとなる南ルートの早期実現を訴え、実現要望及び広報活動を積極的に展開します。
- ◇紀北地域や広域拠点地域との連携を強化する広域幹線道路の整備を促進します。

＜関連する主な個別計画＞

- ◇泉南市自転車活用推進計画
- ◇泉南市都市計画マスタープラン
- ◇橋梁長寿命化修繕計画
- ◇道路舗装の個別施設計画

施策15 下水道・生活環境・住まい

＜目指すまちの姿＞

地域特性をいかした土地利用が促進され、自然環境とも調和した魅力的なまちなみを有し、多様なニーズに対応した快適で住みやすいまち

■下水道など、生活基盤の強靱化や維持管理を計画的・効率的に進めるとともに、計画的な土地利用により、自然環境と調和しつつ、利便性が高く魅力あるまちづくりに取り組みます。

＜施策に関する成果指標＞

拠点徒歩圏の新築件数の割合（拠点徒歩圏建築確認数/全建築確認数）

＜現状値（令和3年）＞

60%

＜目標値（令和14年）＞

80%

＜施策に関する主な泉南市の取組状況・背景＞

- ◇下水道の整備により普及率は年々上昇していますが、大阪府下では依然として低い水準です。
- ◇まちなみ景観の向上とあわせ、主要駅及び駅周辺のバリアフリー化を進めています。
- ◇老朽化した市営住宅や公園施設の更新、補修による長寿命化を図っています。
- ◇空き家の適正管理や利活用に関する啓発を実施していますが、空き家数は増加傾向にあります。

＜施策に関する主な課題＞

- ◇良好な生活環境の確保のため、下水道のさらなる普及率向上に取り組むことが必要です。
- ◇平坦部や幹線道路付近の農地の都市的利用への転換が必要です。
- ◇駅周辺を活性化していくため、コンパクトシティ形成のビジョンが必要です。
- ◇市内に点在する老朽化した公園の利活用についての検討が必要です。
- ◇未耐震の市営住宅の解消が必要です。
- ◇増加する管理不全の空き家への対策が必要です。

＜関連する市民の意見・アイデア＞



子どもや市民が関わって遊び場や公園の整備ができればいいなあ

＜関連するSDGs＞



＜実施する主な取組＞

① 下水道の整備

- ◇下水道施設の計画的な維持管理と更新を行うとともに、効率的な下水道事業を進めます。
 - ◇下水道使用料の定期的な見直しや下水道普及率の向上を図り、安定的な運営を行います。
- ※水道事業については、平成31年4月から大阪府広域水道企業団に統合されました。

② 都市再生の推進

- ◇コンパクト・プラス・ネットワーク（地域公共交通と連携したコンパクトなまちづくり）の考えに基づき、まちづくりを推進します。
- ◇農地等の有効活用を図るため、適切な土地利用の転換等を促進します。
- ◇公園の再編・集約化やバリアフリー化等、公園の魅力向上を図ります。
- ◇拠点集約型と幹線道路沿道型の土地利用を地域の特性に合わせて促進します。
- ◇公的不動産の有効活用や公民連携を推進し、多様なニーズに対応した都市再生を推進します。

③ 住まいの提供

- ◇市営住宅の計画的な改修や建替え等、安心して暮らせる住まいの提供を図ります。
- ◇空き家所有者による適正管理、空き家バンク登録の促進等、空き家対策に総合的に取り組みます。

＜関連する主な個別計画＞

- ◇泉南市都市計画マスタープラン
- ◇道路舗装の個別施設計画
- ◇自転車活用推進計画
- ◇泉南市下水道事業経営戦略
- ◇泉南市市営住宅長寿命化計画
- ◇泉南市公園施設長寿命化計画
- ◇泉南市空家等対策計画